

## P-05: NPO ホームページのアクセス数と山頂周辺天気の関係について

泉田航<sup>1</sup>, 鴨川仁<sup>1</sup>

1.東京学芸大学

### 1. はじめに

認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会は、ホームページを運営し、富士山測候所を活用した研究・教育活動についての情報発信や富士山関連のニュースリリースなどを行っている。当ホームページへのアクセス数と御来光などの山頂気象データの相関および関連データとの比較解析を行った。

### 2. 解析方法

NPO 富士山測候所を活用する会のホームページでは、Web サーバーにアクセス解析ツールが導入されている。アクセス解析ツールでは、時間別、ページごとのアクセス数が提供されている。本研究では用いていないが、検索ワード、訪問者ドメインの情報も得られる。本研究では、この時間ごとのアクセス数を用いて以下の分析を行う。また、アクセス数は、訪問ページ数とした。旧富士山測候所に研究者が利用していた期間は2016年7月2日から8月29日であるので、アクセス数データは2016年7月1日から8月31日までを使用した。

比較分析するデータとして、日照時間との関係性を調べるために気象庁富士山特別地域気象観測所データ([www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html](http://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html)), 登山者数との関係性を調べるために環境省設置赤外線カウンターデータ([www.env.go.jp/park/fujihakone/data/fuji\\_tozansha.html](http://www.env.go.jp/park/fujihakone/data/fuji_tozansha.html))も用いた。使用データはそれぞれアクセス数データの期間に合わせて2016年7月1日から8月31日までとした。

分析は、アクセス数と日照時間の相関解析、アクセス数と登山者数の解析、アクセス数1時間積算値、アクセス数1日積算値を行った。

### 3. 結果と考察

図1はアクセス数の1日積算値のグラフである。アクセス数の大小を調べるため、全データの中央値(12711)以上のアクセスがあった日にオレンジ色を付けた。ここからアクセス数が特に多いのは7月11日～8月21日頃までと分かる。開始時については、2016年全登山口開山時期(7月10日)から、図2に示すようにNPOのライブカメラ映像の公開がスタートした時期(7月9日)とも近いことがわかる。富士山が開山し世間の注目が集まっている状況で、当ホームページが関連サイトとしてヒットしている可能性がある。

また、図1においては7月4日に集中アクセスがあったことがわかる。時間別に調べてみると朝7時に集中してお

り、ある特定の国内ドメインからの集中したアクセスであるが詳細は不明であった。

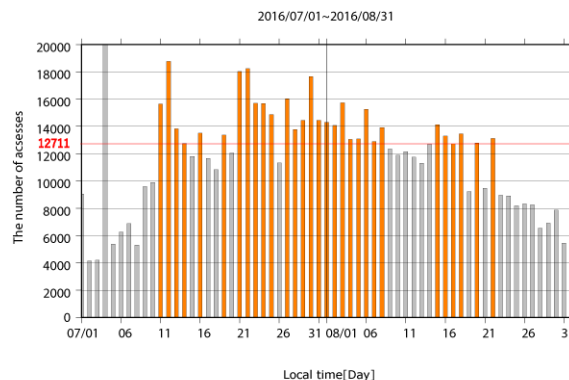


図1 アクセス数の1日積算値のグラフ



図2 NPO ホームページ ニュースリリース情報

図3はアクセス数1日積算値と富士山登山者数のグラフである。アクセス数は青色、登山者数は赤色で示している。さらに図4はこれらを曜日ごとに積算して中央値をとったもので、色分けは同様にしている。登山者数は週末にかけて増加し、アクセス数は月曜日を最大にむしろ平日に若干多いことが分かった。図3と図4より登山者数とアクセス数にはやや逆相関となっている。同様に、図1よりアクセス数が8月9日～14日まで少ないことがわかる。時期として、山の日を含んだお盆休み(8月11日～16日)と重なる日が多い。このことも、登山者が多い時はアクセス数が少ないということと一致する。

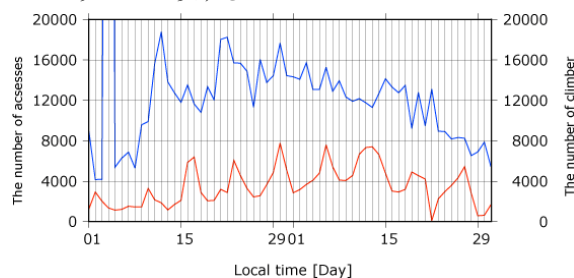


図3 アクセス数1日積算値と富士山登山者数のグラフ

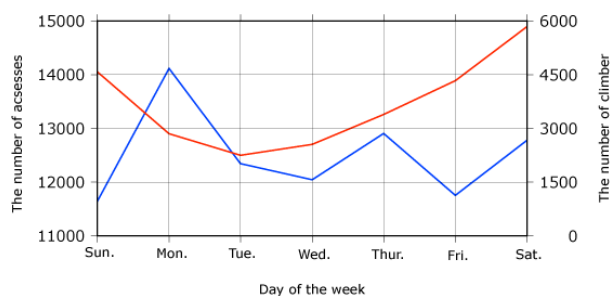


図4 アクセス数と登山者数の週変化のグラフ

図5はアクセス数の1時間積算値の日変化グラフである。午後4時前にアクセス数の急な増加が見られる。一般に日本では、4時から5時のインターネットトラフィックが1日の最小であることから、いわゆる富士山登山の名物となる御来光がライブカメラから見られることがトラフィック増加の開始を早めていると推察される。

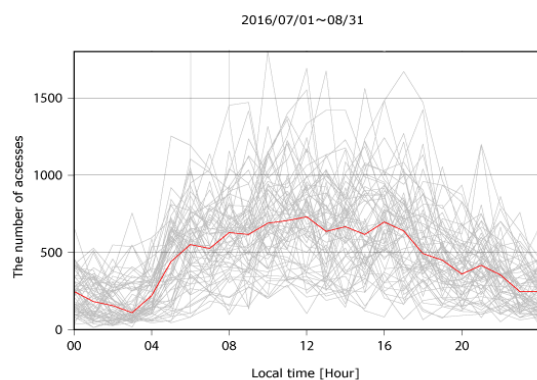


図5 アクセス数の1時間積算値のグラフ。赤線は各時刻の中央値

御来光や好天時の山頂景色を眺めるために、ホームページにアクセスしてライブカメラ映像を視聴する人が増えると仮定して、アクセス数1日積算値を横軸、5:00～18:00の日照時間積算を縦軸に取り描いた相関図を図6とする。ここから特に相関はみられなかった。ここから推察できることは、まずアクセス者周辺の天気などにかかわらずまずアクセス者がいるということが予想される。

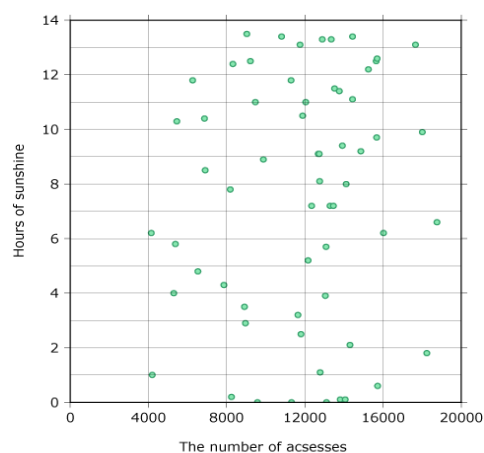


図6 アクセス数1日積算値と富士山山頂の日照時間の相関図

#### 4. まとめ

アクセス数解析により、御来光時のアクセスが多いことが分かった。また日照には山頂天気(日照時間)との相関はみられなかった。このことからライブカメラに対する期待は高いと予想された。

#### 参考文献

- 1) 総務省, 平成26年度情報通信白書 (2014)